

# 目 次

第1章 研究の概要	1
1.1 研究の要旨	1
1.2 研究の背景	1
1.3 研究の体系と成果目標	3
1.3.1 道路空間の安全性向上に関する研究	4
1.3.2 道路空間の快適性向上に関する研究	5
1.4 研究成果の活用方針	6
1.4.1 道路空間の安全性向上に関する研究	6
1.4.2 道路空間の快適性向上に関する研究	7
1.5 研究実施体制	8
1.5.1 道路空間の安全性向上に関する研究	8
1.5.2 道路空間の快適性向上に関する研究	9
1.6 研究成果	10
1.6.1 道路空間の安全性向上に関する研究	10
1.6.2 道路空間の快適性向上に関する研究	11
1.7 施策への反映	12
1.7.1 既に活用されているもの	12
1.7.2 今後活用される予定のもの	13
第2章 道路空間の安全性向上に関する研究	14
2.1 研究の概要	14
2.2 交通安全対策の効果分析	17
2.2.1 はじめに	17
2.2.2 分析方法	18
2.2.3 分析結果	27
2.2.4 まとめ	43
2.3 事故と道路構造との関係	44
2.3.1 はじめに	44
2.3.2 分析の方法	46
2.3.3 分析の結果	52
2.3.4 まとめ	75
2.4 ヒヤリ事象の活用	77

2.4.1	活用策を意識したヒヤリ地図の作成方法	77
2.4.2	ヒヤリ事象を活用した事故要因の把握と対策検討	85
2.5	交通安全施設の改良	101
2.5.1	道路附属施設等の緩衝対策に関する研究	101
2.5.2	景観に配慮した防護柵の検討	104
2.5.3	歩行者用照明の必要照度とその区分に関する研究	106
2.5.4	交差点照明の照明要件に関する研究	112
2.6	交通安全対策展開の効率化	119
2.6.1	背景・目的	119
2.6.2	研究内容	119
2.6.3	交通事故対策・評価マニュアル	119
2.6.4	交通事故対策事例集	122
2.6.5	事故対策データベース	124
2.6.6	まとめ	126
2.7	人間特性、高齢者特性の把握と対応	127
2.7.1	高齢者特性の把握	127
2.7.2	人間特性の把握	132
2.7.3	今後の対応	138
第3章	道路空間の快適性向上に関する研究	139
3.1	研究の概要	139
3.2	歩行者空間のバリアフリー化	141
3.2.1	歩道上の車両乗入れ部の構造	141
3.2.2	高齢歩行者の経路選択と経路上の問題点	144
3.2.3	歩行者交通流に基づく歩道幅員の算定	147
3.3	生活道路の快適性向上	153
3.3.1	交通安全対策の効果等調査	153
3.3.2	対策実施地区での合意形成等取組みの調査	158
3.4	道路空間再構築	160
3.4.1	研究の目的	160
3.4.2	道路空間再構築の分類	160
3.4.3	国内での道路空間再構築事例	161
3.4.4	海外での道路空間再構築事例	163
3.4.5	道路空間再構築の考え方	166
3.4.6	おわりに	167

3.5 道路景観の形成・保全	168
3.5.1 道路景観形成事例の調査	168
3.5.2 道路景観形成・保全のための技術的知見の収集・整理	170
3.5.3 道路景観形成時の合意形成方法に関する調査	172
3.6 自律移動支援	176
3.6.1 研究の背景・目的	176
3.6.2 歩行者のニーズ調査	176
3.6.3 歩行者 ITS のシステムの検討・開発	177
3.6.4 自律移動支援システムの検討・開発	177
3.6.5 まとめ	181
第4章 研究のまとめと今後の課題	182
4.1 研究のまとめ	182
4.1.1 道路空間の安全性向上に関する研究	182
4.1.2 道路空間の快適性向上に関する研究	183
4.2 今後の課題	184
4.2.1 道路空間の安全性向上に関する研究	184
4.2.2 道路空間の快適性向上に関する研究	185
参考資料	
参考資料-1 研究成果の公表状況	